



すぎなみ

教育報

第178号
平成17年9月30日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎3312-2111 FAX 5307-0692
教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

「中学生レスキュー隊」が発足 区立中学校5校

高南、井草、荻窪、高井戸、和泉の各中学校

教育委員会では、平成17年度重点施策として「中学生レスキュー隊」の編成に取り組んでいます。地域で生活する中学生が災害や事故等いざというときに役立つよう心身を鍛え、救命救急技術をはじめ災害時に役立つ知識、技能を身につけて、防災意識、社会貢献意識、自己有用感を高めることが目的です。今年度は、区立中学校5校（高南、井草、荻窪、高井戸、和泉）で、部活動または生徒会活動の一環としてモデル実施を行います。その成果をふまえて次年度以降の実施方法を検討し、拡充に努めていきます。



発足式を実施

8月5日（金）午前、阿佐ヶ谷中学校体育館に、モデル実施校5校の生徒有志約120名が集まり、発足式を行いました。地域防災リーダーの皆さんからは、「各校での自主活動を支援していきます」と挨拶があり、区の防災課長からは、中越地震救援の体験から、災害時の心構えとして、「行政の支援がすぐには期待できない中で、まず自らの身は自らで守り、次に近隣のお年寄りなど災害弱者の救援に地域で取り組んでほしい」と話がありました。午後は校庭で、他校の生徒とともに班を組み、簡易トイレや担架の組み立て、油圧ジャッキの操作など、防災機器の使用方法を体験しました。訓練後、生徒たちからは、「実際に訓練を体験して、災害時に役立つ自信が持てるようになった」との感想が聞かれました。

教師養成塾「杉並師範館」が設立されました！

杉並師範館で学んだ人を区の小学校教員として採用するという「地域による教師の養成と採用」を始めます。区の教員として採用される教師は杉並区立の学校から離れることなく教育に携わることになるので、地域への愛着も深まり、地域と一体となった教育活動のリーダーになっていくことも期待できます。師範館では、人を教える人間力を養うとともに、実践的指導力に重点をおいた杉並独自のカリキュラムにより、塾生の教師としての力に磨きをかけていきます。

「杉並師範館」4つの柱からなるカリキュラム

「指導力」「授業力」を磨く
演習（ゼミナール）
現場経験豊かな教官によるきめ細かな指導
指導教官のもと、ゼミナール形式で年間を通じた実践指導を行ないます。また課題に応じ、現場の教師等「指導のプロ」を講師に招きます。

現場で学ぶ・子どもと学ぶ
特別教育実習
実際に教壇に立ち、子どもと触れ合う
杉並区の小学校で実際に授業を行ない、指導力を養います。また、区内教師のモデルとなる授業を観察・分析し、授業力の向上を図ります。

「人間力」を磨く
講義
多彩な教授陣による充実した講義
教育界だけでなく、企業の第一線で活躍し、日本経済を牽引してきた人など、経済界はじめ多方面から講師を招聘し、広く社会のことを学びます。

学び合い、高め合い、育ち合う
合宿・体験
絆を深め、社会性を養う
合宿では、教官や卒業後も共に歩んでいく塾生同士の絆を深めます。体験では、企業における職業体験等を通じ、社会人としての責任ある態度を身につけます。

実践的指導力が身につきます
実践的指導は現場で学ぶのが一番！
人間としての幅を広げる場で
経験者や先人の知恵に学ぶ

変化の激しい時代だからこそ……
困難に立ち向かっていけるたくましさ、柔軟な発想や対応力を養います。
将来世界にはばたいていく子どもたちに還元できるよう、教師に必要な広い視野、豊かな社会性を身につけます。

18年4月開塾です。ただいま、塾生募集中！ 皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。問合せ先：杉並師範館 電話：3311-2900

ペン知る 第2回すぎなみ「本の帯」アイデア賞の作品募集！ お気に入りの一冊に、その本が読みたくなるような帯広告を掛けて応募してください。作品はひとり一点、未発表のもので、内容・用紙の種類・字体・字数は自由。写真や絵などを入れても構いません。対象：区内在住・在勤・在学の小学生から18歳までの方 募集期間：平成17年10月15日～10月31日（必着） 応募用紙配布場所および作品提出先：各杉並区立図書館 問合せ先：中央図書館 児童サービス担当 ☎3391-5754

幼稚園と保育園の交流会

西荻北幼稚園



幼稚園・保育園対抗リレー

「同年代の友達と出会い、家庭と幼稚園の生活から外へ世界を広げることが、子どもにとって大きな成長の機会になる。」そんな思いから西荻北幼稚園では、来年小学校と一緒に学ぶことになる西荻北保育園の園児たちとの交流会を開催しました。

9月8日、晴天に恵まれた関根文化公園。初めて会う友達に興味津々な子どもたちは、すぐに打ち解け、縄跳び、リレーなどを一緒に楽しみました。相撲で幼稚園チャンピオンの男の子は、保育園チャンピオンと対戦！健闘むなしく敗れた彼を見て、中村副園長は「あんなに悔しがらぬ姿は初めて。これを自分で乗り越えればひと回り成長するでしょう。あとは、周りの大人が見守り、サポートすることが必要。そのために教員相互の連携ももっと図ります」と話しました。今回の交流会をきっかけに、今後も幼児連携の取組みを進めていきます。

算数レストラン開店！

杉並第七小学校

「算数が好きな人は？」「はい！」たくさんの元気な声が返ってきます。杉並第七小学校では、今年度から「算数レストラン」を開店しました。このレストランには8つのコースがあります。わくわく体験コース、土曜教室コースなどレストランでメニューを選ぶように子どもたちは学びたいものを学習します。わくわく体験コースの活動場所は、「わくわく算ルーム」と名付けられた教室です。10個に区切られたブースにはパズルやクイズが月替わりで用意されており、子どもたちは休み時間などを利用して各ブースの問題に挑戦していきます。また、毎月第1・3土曜日には土曜教室コースが開催されます。

多い時は教室に入りきれないほどの子どもや保護者が参加します。9月3日は「数あて推理ゲーム」。2人1組になり、相手と自分が手の中に隠した棒の合計数を当てています。相手が答えた数字も参考に自分の答えを考えるよう先生が声をかけると、いろいろな可能性を考え始める子どもたち。勝敗の行方に歓声をあげていました。学力向上には何が必要か？ 高橋校長は「いかに興味を持たせ学習意欲を高めるか。それができれば、おのずと学力も向上します。子どもだけでなく、保護者や地域の方々も算数の魅力が味わえるような学校にしたい」と抱負を語りました。

特色ある教育活動をご紹介します

杉並区立の各小中学校・幼稚園では、工夫を凝らした様々な教育活動が行われています。今号では、その中からいくつかの取り組みをご紹介します。

中学生の職場体験学習

杉並区では、中学生の時期に適切な労働観や職業観を育むため、今年度から、全区立中学校で5日間連続の職場体験学習を実施しています。地域の商店や事業所等にご協力をいただき、各校で順次取り組んでいるところですが、その中から阿佐ヶ谷中学校と中瀬中学校の様子をご紹介します。



5日間の体験で生徒は大きく成長します 7月4～8日 阿佐ヶ谷中学校

阿佐ヶ谷中学校では、仕事の本質を理解するためにはある程度の期間が必要と考え、14年度から5日間の職場体験学習を実施しています。今年度は法律事務所や動物病院、スーパーマーケットなど25の事業所にご協力をいただき、無事実施することができました。体験学習を終えた生徒は「仕事には正確な知識が必要だと思った」「人の意見に耳を傾けることが重要だと思った」と話しており、5日間の体験は、単なる職場見学にとどまらず、実際に働くことの厳しさを感じ取る良い機会になったようです。また、毎日働いている親に対して感謝の気持ちも持ち始めており、着実に成果を上げてきています。来年度は、生徒自身が事業所に受け入れを依頼するといった取り組みも検討し、より充実した職場体験学習を進めていきたいと考えています。

成功の秘訣は地域と学校の連携です 7月11～15日 中瀬中学校

「ひとつの苦情もなく、多くのお褒めの言葉、励ましの言葉をいただきました。ある事業所の方からは来年もお願いしたいと言われました。」と高橋副校長は、安堵感に満ちた言葉で初挑戦した5日間の職場体験学習を振り返りました。体験中は、すべての教員が協力して、生徒の実習先である歯科医院、卸売市場など39の事業所を回り、生徒に声をかけたり、事業所の方との情報交換に努めました。「注意されて、自分の仕事に対する甘さがわかった」という生徒の前向きな感想や「自分から仕事を見つけて根気よく働いてくれた」という事業所の方の声からは、地域と学校が協力して取り組んだ様子がうかがえます。今年度の取り組みをふまえ、来年度も事業所の方に安心してご協力いただけるように連携を図っていきます。

英語で生活!!

イングリッシュ・サマー・キャンプ

杉森中学校

杉森中学校では、これまで学んできた英語力を実際に活用し、コミュニケーション能力の向上を図るため、8月1～3日、あきる野市にある秋川荘で、イングリッシュ・サマー・キャンプを実施しました。このキャンプには2、3年生30人が参加。英語の指導は学校教育コーディネーターの紹介で集まった外国人講師6人です。「キャンプ中は英語のみで会話する」という厳しい条件下、生徒5～6人のグループに1人の外国人講師が付き英語学習に励みました。自己紹介、工夫を凝らした楽しいゲーム、一緒に食事・・・最初は、講師の発音や話すスピードに戸惑っていた生徒たちも、徐々に身振りを交えながら会話ができるようになり、最終日には、グループごとにスキット(寸劇)を発表！初日とは見違えるようなのびのびした表現に、大いに盛り上がりました。「間違いを恐れず一生懸命話せば相手に伝わるのがわかった」「頭ではなく体で英語を学べた」「落ち込んだこともあったけどみんなが励ましてくれた」とキャンプを振り返った生徒たち。今回の体験で、それぞれにたくましく成長したようです。



パン作りを通して地域と交流

荻窪中学校

残暑厳しい8月24日、荻窪中学校の家庭科室は、焼きたてのパンの香りであふれにりました。パン作りには挑戦したのは、パン作り部の生徒14名と地域の敬老会館で活動する井荻万寿美会7名の皆さん。3年前、敬老会館を利用する方々が、手縫いの雑巾を同中学校に贈ったことがきっかけで、交流が始まりました。強力粉に砂糖、イースト、卵、仕込み水などを混ぜ、生地をまとめていきます。以前、万寿美会の方から「材料を混ぜる時、不安定なボールの下には濡れ布巾を敷くといいよ」とアドバイスを受けた生徒は、今回もしっかり実践。手際よく混ぜていきます。発酵や焼き上がり待ち時間は、自己紹介があったり、前回のパンの出来を振り返ったり...。そのうち、オープンからふっくら膨らんだパンの

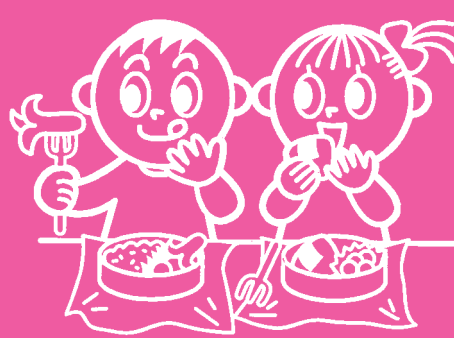
いい香りがしてきました。早速、焼きたてパンをみんなで試食！思わず笑顔がほころびます。万寿美会の方は「体調が悪い時でも、生徒さんたちとパン作りするのが楽しくて参加を続けています」と話していました。パン作り部はこのほか、地域の障害を持つ子どもたちとも交流を図っており、文化祭では、趣向を凝らしたパンを焼いて展示したり、地域の方との交流の様子をパネル展示したりしています。2学期には新しいオープンも購入し、ますます充実した部活動を進めていきます。



ご存知ですか？「食育」

～食育シンポジウムが開催されました

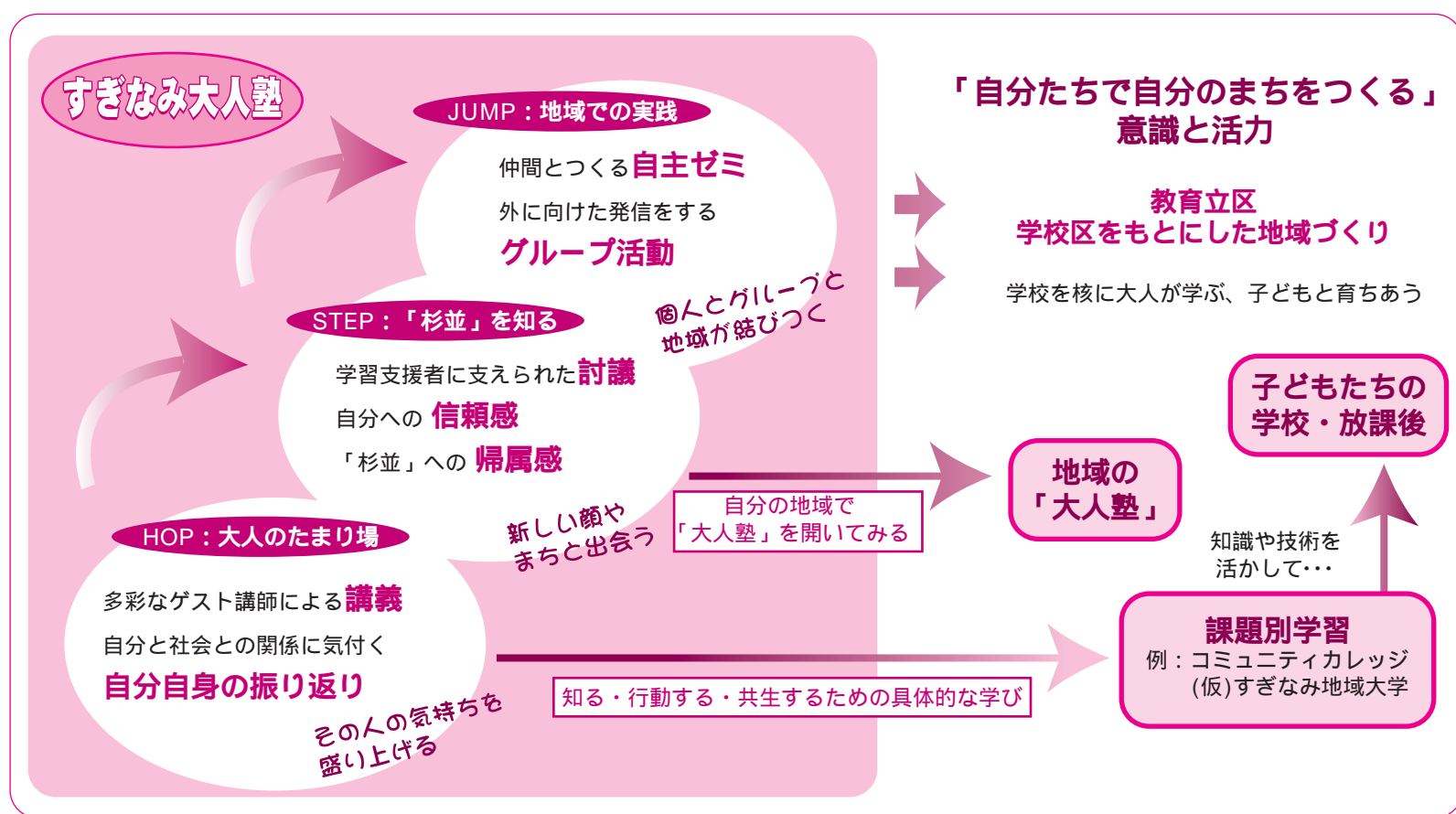
今年6月に、食育基本法が成立し7月から施行となりました。「教育立区」をめざす杉並区では、食育を生きるうえでの基本として徳育・知育・体育の基礎と位置付けて推進しています。その取組みの一つとして、7月20日セッション杉並において「食育シンポジウム」を開催し、前文部科学大臣の河村建夫氏の基調講演、続いて和田中学校藤原校長と河村氏による会場参加型討論会を行いました。当日は、小中学生の保護者のほか、学校栄養士、保育園職員等が多数参加し、また区外からの来場者も多く、「食育」に対する関心の高さがうかがえました。



河村氏の講演は、「いまなぜ『食育』か?」というテーマで食育基本法が成立することになった過程を中心に、「食育」に関するご自身のエピソードもまじえて、わかりやすく楽しい内容でした。会場参加型討論会は、会場の参加者から出された質問・意見の中からテーマを決めて、藤原校長の司会で進められ参加者も発言しやすい雰囲気の中、河村氏との討論も活発に行われました。内容は、「朝食を摂ることの重要性」や家庭での「家族そろっての食事の時間」等、食育に関する多様なテーマで時間が足りないくらいに盛り上がった討論会となりました。

「すぎなみ大人塾」～自分を振り返り、社会とのつながりを見つける大人の放課後が、いよいよはじまります！

「すぎなみ大人塾」は、子どもの成長にのみ期待するのではなく、相互学習を通じて大人自身も自分の可能性に気づき、ネットワークを作ったり自主ゼミを開いたりしてみんなで新しい地域づくりをしていこう！という、「放課後」的に自由な発想を育める学習の場です。具体的には昼間と夜間の2コースを設置。昼間のコースは11月8日火曜日午前10時開始。「あなたが見つかるミステリーツアー～“すぎなみ”の新しい楽しみ方」をテーマに、竹迫和代さん((株)計画技術研究所)が学習を支援します。夜間のコースは11月16日水曜日午後7時開始。「すぎなみ社会起業家塾～イノベーションは杉並から起こす～」をテーマに、新谷大輔さん(三井物産戦略研究所)が学習を支援します。どちらもおおよ隔週で来年3月まで全10回、セッション杉並で開催予定です。一時保育もあります。まずは2コース合同のプログラムとして、11月2日(水)午後7時より直木賞作家逢坂剛氏を迎えての基調講演「もうひとつの人生」からスタート！他にも豪華なゲスト講師を検討中。ご期待！たくさんのご応募お待ちしております！(右のイメージ図参照) 問合せ：社会教育センター ☎3317-6621



0へ知る>>「すぎなみ人・とっておき物語」子どもインタビュー募集中！ 「すぎなみ人・とっておき物語」は、杉並に生きる偉大な人々を区内の中学生がレポートするサイトです。子どもたちの希望ジャンルを重視し、身近で魅力的な大人にインタビューします。詳細は「すぎなみ学倶楽部」(http://www.suginamigaku-club.org/)をご覧ください。お申込み・お問合せ：NPO法人「知の市庭(ちのいちば)」東島 ☎/FAX 3325-7254

0へ知る>> 海外から帰国した友だちや外国人の友だちをつくろう！国際交流の集いを開催します 国際理解・帰国児童生徒教育センターでの学びの成果を知ってもらうために、国際交流の集いを開催します。外国人児童生徒の日本語のスピーチ、帰国児童生徒の英語のスピーチ、ゲームなどを行います。みなさんのご来場をお待ちしています。(車での来場はご遠慮ください) 日時：10月29日(土)午前10時～正午 会場：杉並第四小学校体育館 問合せ先：同センター ☎5373-0809

杉並区と区内5大学がお届けします

～包括協定締結一周年を記念して～

1 絵本に親しみ、絵本の世界を語る

展示会「なかやみわ“絵本の世界”」

日時 9月20日(火)～10月2日(日)
午前9時～午後8時(日・祝日は午後5時まで)

会場 中央図書館(荻窪3-40-23)

内容 『そらまめくんシリーズ』等の作品展示

対談「絵本の世界を語る」

日時 10月1日(土) 午前11時～12時30分

会場 中央図書館(荻窪3-40-23)

内容 なかやみわさん(絵本作家)と高橋洋代さん(立教女学院短期大学教授)の対談



©福音館

2 「地域へ、地域から -- 団塊世代のライフスタイル」

日時 11月2日(水) 午後6時30分～8時30分

会場 セシオン杉並(梅里1-22-32)

内容 古屋和雄さん(NHKアナウンサー)の基調講演と
5大学等からのパネラーによる公開ディスカッション

3 5大学連携講座「生と死を考える」 要申込み

日時・会場 11月12日(土)午後1時～4時30分 明治大学和泉校舎

11月19日(土)午後1時～3時30分 立教女学院短期大学

内容 5大学からのさまざまな分野の講師による連続講座

問合せ先: 社会教育スポーツ課管理係

区立小中学校第一次適正配置計画(通学区域の変更)を策定しました

学校適正配置の一環として、現在、適正規模を上回る大規模校(小学校:19学級以上、中学校:13学級以上)及び大規模住宅の建設などにより将来、教室不足などが予想される学校を対象に、6月22日に「杉並区立小中学校第一次適正配置計画(通学区域の変更)」を教育委員会において決定しました。

主な内容は以下のとおりです。

通学区域変更の実施時期等

学 校 名	変 更 予 定 時 期	変 更 協 議 開 始 時 期
高井戸中学校	協議会での検討を待って決定する	16年11月
桃井第一小学校	19年4月	おおむね変更予定時期の2年前
井荻中学校	19年4月	
浜田山小学校	20年4月	

検討協議会の設置について

変更予定時期のおおむね2年前に学校関係者により構成する協議会を各対象校に設置し協議します(高井戸中学校は、16年11月に設置)。この協議会での検討を待って通学区域の変更を決定します。

学校希望制度による受け入れ枠の縮小

対象校については、学校規模が適正規模に安定するまでの間、1校あたり40名以内としている学校希望制度による受け入れ枠を10名から30名程度に縮小します。

在校生、兄弟姉妹について

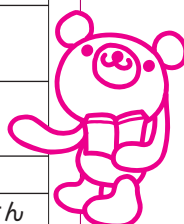
住所地が通学区域外になった場合でも、在校生は继续在籍に通学できます。また、児童・生徒、保護者の意向に沿って兄弟姉妹は同じ学校に在学できるように配慮します。

図書館サービスが充実します!

方南図書館オープン(11月3日) / 和田図書サービスコーナー開設(7月25日)

11月3日、区内で12番目の図書館として、方南図書館が開館します。方南小学校の東側で、近くには方南児童館や方南中央公園があります。また図書館の2階部分は民間の保育所です。このような環境を考慮し、他の地域図書館と比べて児童書を増やし、児童に対するサービスに重点を置きます。また、7月25日には、和田区民集会所内に、和田図書サービスコーナーを開設しました。区立図書館から本を取り寄せて貸出し、返却も受け付けます。地域の皆様のご利用をお待ちしています。 問合せ先: 中央図書館 ☎3391-5754

	方 南 図 書 館	和田図書サービスコーナー
開館時間	平日(月～土) 午前9時～午後8時	日曜、祝日 午前9時～午後5時
休館日	毎月 第1月曜日、第3木曜日 年末年始 特別整理期間	毎月 第1・3月曜日、第3木曜日 年末年始
所在地	方南1丁目51番2号	和田2丁目31番21号 (和田区民集会所内)
電話番号	☎5355-7100(開館日より)	☎5340-6272
蔵書予定数	115,000冊	閲覧用図書などの蔵書はありません



教育委員会の動き

17年6月～17年8月

【教育委員会開催状況】

定例会	4回
臨時会	3回
議案	10件
報告事項	23件

【主な案件】

- は審議、は報告事項
- 中学校教科用図書及び学校教育法第107条教科用図書の採択について
- 「杉並区立小中学校第一次適正配置計画(通学区域の変更)」の策定について
- 「杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台(学校の統合)」の一部改正について
- マイクロソフト株式会社からのXbox寄贈について
- 平成17年度学校希望制度の実施について
- 図書取次ぎコーナーの開設について
- 「杉並区中学生レスキュー隊」について
- 特別支援教育に係る都モデル事業実施地区の指定について
- 教科書展示会の結果報告について
- 教育施設のアスベスト調査結果について

中学生が使う教科書が決まりました

平成18年度から使用する区立中学校の教科書が、右表のとおり決まりました。

これらの教科書は、8月4日及び12日に開かれた臨時教育委員会において、教科書調査委員会(校長、副校長、主幹または教諭、保護者からなる組織)からの報告書や種目別調査部会(それぞれの教科を専門とする校長、副校長、主幹または教諭からなる組織)からの報告書、学校からの調査報告書、区民アンケートを参考に、5人の教育委員の協議を経て採択されました。

なお、採択された教科書の見本は、済美教育センター(堀ノ内2-5-26)で常時閲覧をすることができます。

また、平成18年度に使用する済美養護学校及び心身障害学級用の教科書については、107条教科書調査委員会(養護学校及び心身障害学級設置校の校長、副校長、主幹または教諭からなる組織)から報告があったものが採択されました。

種 目	発 行 者
国 語	光村図書
書 写	光村図書
社 会(地理的分野)	帝国書院
社 会(歴史的分野)	扶桑社
社 会(公民的分野)	大阪書籍
地 図	帝国書院
数 学	東京書籍
理 科(第一分野)	東京書籍
理 科(第二分野)	東京書籍
音 楽(一般)	教育出版
音 楽(器楽合奏)	教育出版
美 術	日本文教出版
保健体育	学習研究社
技術・家庭(技術分野)	東京書籍
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂
英 語	東京書籍

環境博覧会すぎなみ2005へご来場下さい(^o^/
「ヤゴ救出大作戦」などの環境学習成果物展示、区内支援団体モデル授業、環境カレンダー絵画コンクール表彰展示、キッズISO&こども国連環境会議報告会などの企画を行います。ご来場をお待ちしています。
日時: 10月15日(土)・16日(日) 午前10時～午後4時 会場: 高井戸地域区民センター



古紙配合率100%再生紙を使用しています。